

自然再生事業関連の調査の概要について

*環境省が中心となって実施している（当面実施予定の）自然再生事業関連の主な調査は以下のとおり。

釧路湿原全域を対象とする調査

●自然環境情報図作成（総合データベース構築）調査（平成13年度～）

- ・釧路湿原全域（流域まで含む）の地形情報、植生情報、動物情報等、以下の表に掲げるような既存情報を、総合的なGISデータベースとして構築するもの。
- ・可能な限り過去からの時系列データベースを作成（航空写真による土地利用情報、ハンノキ分布情報等）。

地形情報	地形図、土地利用、標高、傾斜、斜面方位、地形区分、流域界など
植生情報	植生図（植生群落、植生自然度など）、ハンノキ分布など
動物情報	哺乳類、鳥類、両生爬虫類、魚類など
基盤情報	道路、行政界、鳥獣保護区、河川、砂防ダムなど
気象情報	気温、降水量、積雪など
農業情報	周辺域の経営耕地面積など
森林情報	林班、小班界など
写真情報	環境省、国土地理院など撮影の航空写真など
衛星画像	SPOT、IRS、ASTER、LANDSATなど

●詳細植生調査（平成14年度～）

- ・専門家の指導・協力の下、植物社会学的レベルでの正確で詳細な植生図を作成するもの。（航空写真等の判読、現地での方形区調査等を実施。）
- ・今後の植生変化を長期的にモニタリングできるシステムを構築（永久方形区の設定等）。

●タンチョウ生息状況調査

- ・ヘリによる繁殖状況確認調査等（これまで環境省、NGO等が実施してきた調査を継続・拡充。）

●自然再生の普及啓発・市民参加等の具体的進め方に関する調査（平成14年度）

●国立公園利用計画等策定調査（平成13年度～）

個別地区調査

●広里地区調査（平成14年度～）

- ・専門家の指導・協力の下、詳細な環境調査等を実施。　　＜詳細は別紙＞